

道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化に向けて

※ ～『橋梁補修DIY』に取り組みます～

高山国道事務所では、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図るために、道路施設の点検計画策定や現地点検講習会等に取り組んでいます。

中部道路メンテナンスセンターは、直轄の道路管理事務所や地方公共団体に道路保全に関する技術的支援等を行っています。

今回は、新しい取り組みとして、日頃のパトロール等で発見した橋梁の損傷に簡易な補修を行い、損傷を進行させない『橋梁補修DIY』について、現地実習を行います。

また、道路メンテナンスに関する、映像、写真、グラフなどを格納している「道路老朽化対策解説ファイル」を現地で配布しますので、ぜひ、報道にご活用ください。

※『橋梁補修DIY』とは

道路橋における損傷の補修対策を実施するまでの期間に、損傷の進行を防ぐことを目的に実施する初期手当（first aid）であり、簡易な材料等を用いて実施するもの。

- 日時 令和5年9月19日（火）13:20～14:20（現地実習）
※天候等の状況（大雨等）により中止する場合があります。
※中止の際は事前に登録頂いた連絡先へ連絡いたします。
- 場所 国道41号 ^{スノリガワバン} 苔川橋（^{タカヤマンチシママチ}高山市千島町）
- 参加者 飛驒地域の自治体職員（市村）、高山国道事務所の職員
- 内容 橋梁補修DIYの紹介、現地実習
- 取材について 取材を希望される方は、事前（9月15日（金）12時まで）にメールにて所属、氏名、連絡先をご連絡願います。
（メールアドレス：cbr-takayama-kanri2@mlit.go.jp）
- 配布先 中部地方整備局記者クラブ、高山記者クラブ
- 問い合わせ先

【現場実習全般について】

国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所
副所長（管理） 沖 和彦（おき かずひこ）
管理第二課長 中矢 剛（なかや ごう）
TEL：0577-36-3811（代表）

【道路インフラメンテナンス全般】

国土交通省中部地方整備局 中部道路メンテナンスセンター
技術第一課長 梶浦 昌尚（かじうら まさなお）
保全対策官 山田 満貴子（やまだ まきこ）
TEL：052-722-7108（代表）



会場案内図

スノリガワバシ タカヤマシ チシママチ
●現地実習会場：国道41号 苔川橋（高山市千島町） 13：20～14：20

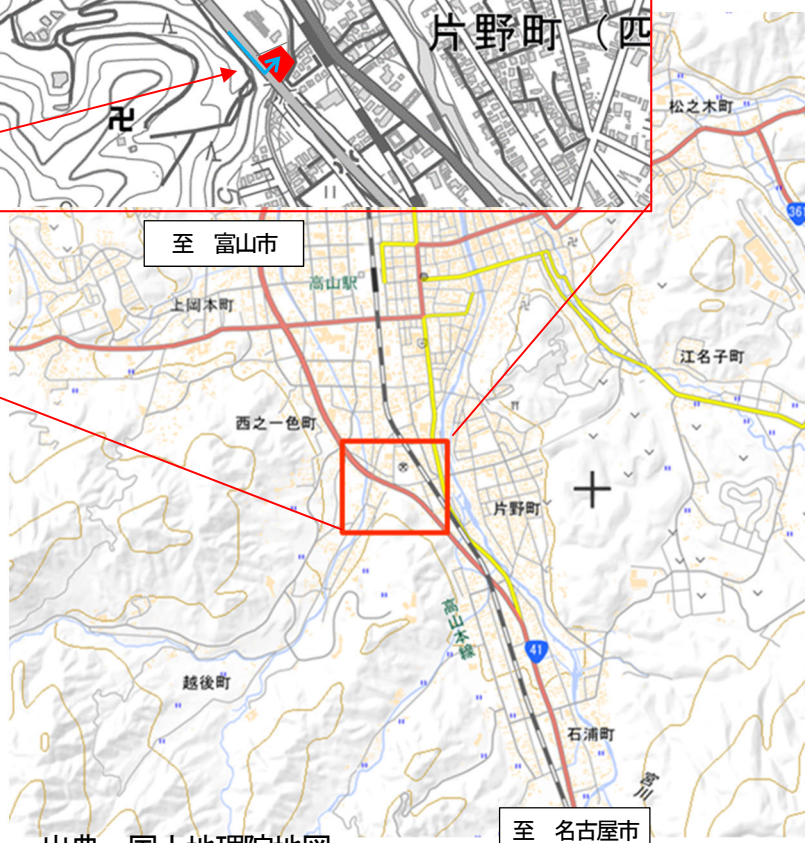
拡大図



駐車場位置



※駐車位置より高山国道事務所の車両で現地までの送迎を行います。



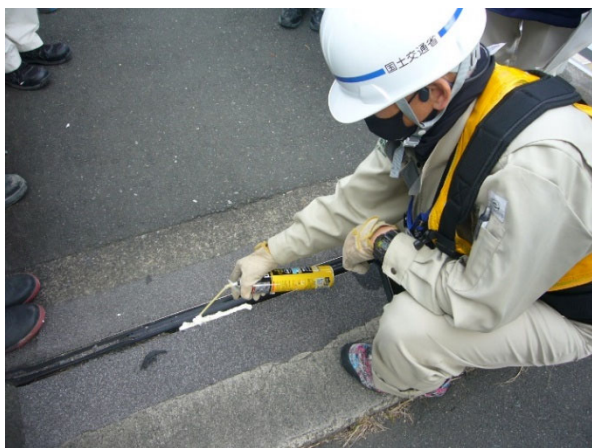
出典：国土地理院地図

『道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化に向けて～橋梁補修DIYに取り組みます～』

<当日のスケジュール（予定）>

時間	場所	内容
11:00～12:00	高山国道事務所	座学
	<移動>	
【公開対象】 13:20～14:20	<small>タカヤマシ チシママチ スノリガワシ</small> 高山市千島町(苔川橋)	橋梁補修DIYの実習
	<移動>	
14:30～15:30	<small>タカヤマシ インシウラマチ アヤタニシ</small> 高山市石浦町(阿矢谷橋)	橋梁点検講習

<現地実習イメージ（他事務所での開催実績）>



DIY 体験（伸縮装置の簡易な補修）



工法の説明状況

<今後の講習会の予定>

今後も高山国道事務所の若手職員向けの講習会を開催する予定であり、取材頂くことも可能です。詳細は高山国道事務所までお問い合わせください。

10月頃：トンネル点検

11月頃：道路土工構造物点検

<今回の取り組みのポイント（概要）>

高山国道事務所では、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図るために、道路施設の点検計画策定や現地点検講習会等に取り組んでいます。

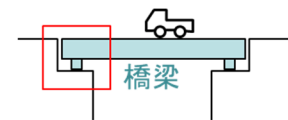
今回は、通常の点検講習に加え、新しい取り組みとして日頃のパトロール等で発見した橋梁の損傷を、簡易な補修を行い、損傷を進行させない『橋梁補修DIY』について、現地実習を行います。

通常、橋梁の点検やパトロールで発見された損傷は、補修設計・工事発注を経て対策を実施することとなりますが、補修設計・工事発注までの期間は1年以上かかる場合が多く、その間に損傷が進み、補修範囲が拡大し、補修費用が増大する傾向にあります。

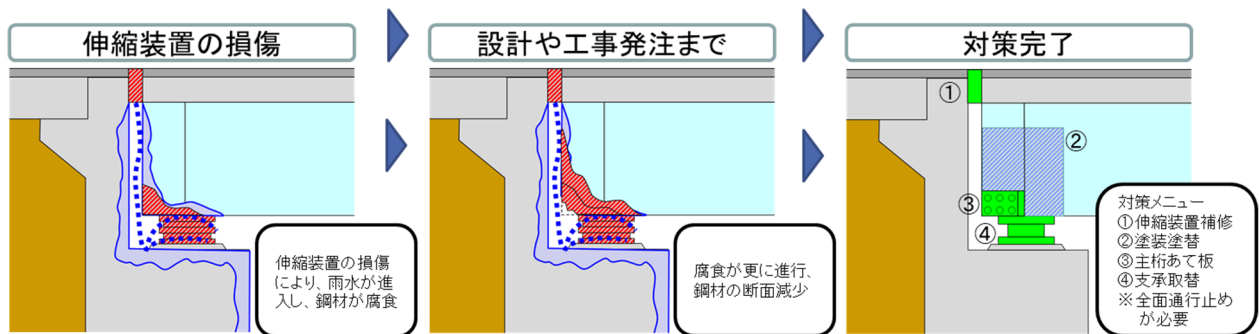
その課題を解決するために、発見された損傷の原因を補修工事までに一時的に簡易な補修を行い、損傷の進行を抑制することを目的に、『橋梁補修DIY』に取り組みます。

今回は、飛騨地域の自治体職員や高山国道事務所の若手職員を中心に座学及び現地実習を行い、技術力向上に努めます。

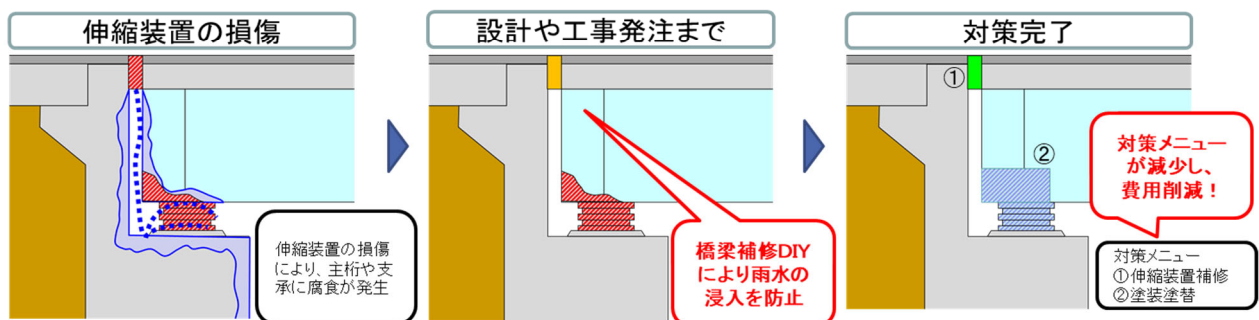
橋梁補修D I Yによる効果（補修費用削減）イメージ



■ 現状



■ D I Y



凡例	
	損傷・腐食
	塗装塗替(費用小)
	雨水の進入範囲
	部材交換(費用大)
	簡易補修